大いなる島から、世界へ。

Bright, Strong, Exciting.　　Wonderful Life in Oshima.

株式會社 大島造船所

〒857-2494 長崎県西海市大島町1605-1
TEL 0959-34-2711（大代表）
TEL 0959-34-5710（採用）
FAX 0959-34-3006
URL http://www.osy.co.jp/

七つの海へ、最高峰のバルク船を届ける島がある。

首都より西へ1200キロ。おだやかな豊饒の海に、どこまでも技術者らしく生きられる島がある。

インターンシップで全国各地から大島造船所を訪れた学生たちは、西海国立公園の海と島の織り成す絵のような美しさにまず、眼を瞠る。一方で、県下第二の都市・佐世保の街へ定期船で25分、車で50分という、大規模造船所には珍しいほどの利便性もまた、若い彼らには見逃せないチェックポイントのひとつらしい。そして何よりも、学生たちの心をグイと惹きつけてやまないのが、今まさに生命を与えられ、船出の時を待つ巨大な新造船の群れだ。世界の海上輸送量の3割強を占める「バルクキャリアー」。毎年新しく建造される3万トンから10万トンのバルクキャリア約250隻。その内約16%に当たる40隻前後のバルクキャリアーを契約通り送り出す大島造船所の確かな存在感に、若い技術者魂は初めは静かに、やがて大きく、揺り動かされる。

五大陸と七つの海を結ぶ。
大いなる島の、特色有る世界一造船所として。

車にたとえれば、タンカーはタンクローリー、客船はリムジンバス。乗用車はさしずめプレジャーボートだろう。大島造船所が手がけるのは、客船でもタンカーでもなく、通称バルカー、バルクキャリアー。穀物から鉱物、工業製品まで、いわばトレーラーのように積荷を選ばない「万能貨物船」だ。バルカーはタンカーと共に世界の海上輸送量の一翼を担う”海の優者（すぐれもの）”。そのバルクキャリアーの建造では、当社は世界でも指折りの存在感を確立。6万トン級のハンディマックス型や8万トン級のパナマックス型を中心に、セントローレンス川を通って五大湖を運航するレイカー、紙の原料のチップ（木のくず）を運ぶチップキャリアなど、多種多様なバルカーを手がけている。ガントリークレーンを装備したオープンハッチバルカー建造に至っては、世界でもトップクラスのメーカーだ。船主も、海運立国の欧州、アジア、南北アメリカ、豪州に広がり、まさにワールドワイド。五大陸を結び、七つの海を悠然と行き交うバルカーを造る日々。ロマンに満ちた技術者生活が、ここにある。

「経験」と「技術」の粋を集めた技術者集団。
パナマ運河の王者も、ここで眼を覚ます。

造船は、「経験」と「技術」の粋を集めた経験工学である。成功も失敗も取り混ぜて、経験の機会が多いほど、技術者の成長曲線は右肩上がりになる。当社の特徴は、手がけるバルカーの種類の多さもさることながら、年間38隻もの建造数。現場の技術者も「経験工学を磨くチャンスはどこよりも多い」と口を揃える。技術者の活躍の場は、開発も担う設計部と、組立を指揮する工作部。多隻数建造に取り組む日々の緊密な連携の中から、設計の技術者と現場の技術者・技能者とのコラボレーションが“バルクの大島”の名に恥じない独自技術を生み出している。某国立大学と包括的連携協定を結ぶなど、産官学の共同開発案件も多く、中堅造船メーカーとしては異例のプロペラ（スクリュー）開発のノウハウも積んでいる。省エネ機構や付加物、推進器等、未来志向の開発テーマも目白押しだ。2008年には国内では最大の1200トン吊りゴライアスクレーンを追加、2014年にもう1基追加したことで年間建造隻数で40隻以上を目指す体制が整った。技術者の成長機会も、ますます増えそうだ。

「物を造る」視点に立った設計。
垣根を越えたコラボが付加価値を生む。

一隻のバルカーを構成する部品は実に30万～40万アイテム。この膨大な部品の検索からデリバリー、艤装に至るまで、一本のラインで一括管理する「統合部品管理システム」を構築した。それこそボルト一本に至るまで、膨大な部品を細大漏らさず自在に管理する画期的なシステムとして業界でも注目の的。構築を担うのは、部署の垣根を越えて全社から集められた10人前後のプロジェクトだ。主力は30歳前後の若手技術者。この件に限らず、当社では新たな取り組みはプロジェクトを組んで進めるのが常だ。設計と現場をつなぐグループの存在もそんなプロジェクト活動の賜物といえる。技術者達の初期提案は累計で2000件近く。コラボの効果を示す証といえよう。また早い段階から責任ある仕事を任せるのも大島流。「おかげで、仕事はラクじゃないけどストレスはゼロですね」と、工作部の若き係長。基本設計の若手社員は「会社に来たくない！と思ったことはないですね。学生時代はたまにあったけど」と笑う。当社の技術環境が、少しは伝わるだろうか。

ノルウェーの貴婦人も、
拍手喝采で門出を祝う命名引渡式。

基本設計と資材の手配にざっと1年。部品加工、組立、艤装、ドックでの建造、そして最終仕上げと、建造に6～7ヶ月。船とは、一隻ずつ、船主と詳細な交渉を重ねながら、１年半もの歳月をかけて造り上げるオンリーワンの作品だ。一日ごとに船の形になっていく姿を追えることこそ、造船マンならではの醍醐味といえよう。
その最終工程にして、最も華麗なセレモニー。それが、竣工時に行う「命名引渡式」である。当社の命名引渡式は、船主はもちろん国内外のお客様、そして大島の地元住民まで招待して挙行する一大セレモニー。過去にはノルウェーのハラルド五世国王陛下やマレーシアのマハティール首相ご夫妻なども列席された。

2018年12月18日、各界のVIPが列席された「CANPOTEX INSPIRE」号の引渡式も、地元保育園の子どもたちの和太鼓演奏あり、大島造船所ブラスバンド部の演奏ありと、いつにも増して大盛況だった。手塩にかけた船の航海の無事を祈りつつ、また新しい船に生命を吹き込む。この幸福な円環が、明日も続きますように。

建造現場にも設計室にもオフィスにも、“造船女子”の大きな笑顔があふれてる。

大島造船所は今から20年前の1999年、船づくりの現場で活躍する女性社員の定期採用を開始し、話題を集めた。「素晴らしい試みだ！」という称賛の声とは別に、「造船といえば男の世界。大丈夫なの？」と疑う向きもあったが、歴代の“造船女子”たちがしっかり期待に応えてくれて、今では総勢40人以上。設計や事務職を合わせると、全社で100人を超える女性社員が活躍中。結婚、出産を経て現場に復帰した“造船ママ”も珍しくない。明るく前向きな造船女子の笑顔は、大島造船所に欠かせない存在。今までも、この先もずっと。

プライベートを思いきり楽しみ、真新しい寮で快適に過ごす。それが大島ライフ。

自然に恵まれ、佐世保の街にも近い大島は、オフの過ごし方も多種多様。社内の釣りサークルが年数回実施する釣り大会のほかにも、組合主催のスキー大会など、楽しいイベント多数。休日にはスキューバなどのマリンスポーツやドライブを楽しむ社員も多い。また2019年2月完成の独身寮「勁草（けいそう）寮」は地上5階建て・全300室。全室個室で、バス・トイレに加えて最速のネット環境も完備。各室10畳でテラスも付いて、寮費は月額5910円だ。平日も休日もフルに活動し、夜は寮の広い自室でゆっくり過ごす。それが大島ライフスタイル！

■造船事業

創業以来800隻以上のバルクキャリアーを建造した「世界のバルク基地」として、多彩なバラ積み貨物船を世界中に送り出す主力事業。今後さらに敷地を拡張し、さらなる量産体制の確立および少子高齢化による人手不足対策のための自動化を推進する先進工場を目指している。全長535m、幅80mの巨大なドックから、今日も技術力を結集したバルカーが大洋を目指す。

SHIP OF THE YEAR2012受賞船
船種：石炭運搬船
全長：235.00m
全幅：43.00m
深さ：18.55m
載貨重量：91,443トン
竣工日：2012年7月27日

■鋼構造物事業

大島造船所の第二の柱は、ライフラインの主役・橋梁をはじめとする各種鋼構造物。その内容は発電所のダクトやサイロ、トンネル換気所、浮橋をはじめとする海洋鋼構造物、水門、福岡ドームの鉄骨まで多種多彩。橋梁の施工実績には大島大橋や女神大橋、新西海橋をはじめ、誰もが知っている主要橋梁が名を連ねる。

船、橋、野菜。
「Made in Oshima」“全社一丸”心を込めた物作り。

トマト、焼酎、リゾートホテル。
地域の宝を活かし、大いなる島が輝きを増す。

■オリーブベイホテル

紺碧の穏やかな海、南国の明るい日差し、ゆったりとした自然に囲まれて、日本と世界をつなぐ船が造られる。自然と最先端の技術が交わるその場所に、ちいさなホテルが生まれた。静かな入り江の奥に斬新なデザインが美しく、客室全32室の小さいけれど贅沢なオリーブベイホテル。

■農産事業

企業理念の中の「面白い大島」を象徴するのが、「大島トマト」の生産を手がける農産事業。もともとは鋼構造物事業部門でガラス製温室の開発に着手したのがきっかけだった。その後、食の安全や食料の安定供給が求められる時代潮流をいち早く読み、糖度10度以上の高品質トマトの量産に成功。ブランド力を確立した。

■大島酒造

1985年、「大島に新しい地場産業を」という地元の強い願いに応えて、第三セクターの形で誕生した醸造会社。地元特産のおいしいサツマイモを使った「ちょうちょうさん」、高級芋焼酎「磨き大島」、麦焼酎「いつもの奴」、コニャック樽でじっくりと熟成させた原酒をブレンドした麦焼酎「529」など、多彩な商品を生み出している。